

平成27年度予算のありまし

平成27年度予算は、一般会計96億4400万円（前年度比14・4%増）総額161億6810万円（6・2%増）で可決されました。

町長提案説明の抜粋

今年度は広島・長崎に原爆が投下されて70年、敗戦から70年の年です。この記念すべき年にあたり、次の4点にふれて町政を考えてみたいと思います。

まずは、大戦に関する反省です。戦争が終わり、世界中で戦争はもうこりこりの思いが高揚し、国際連合が組織されました。日本では不戦の誓いとして日本国憲法を制定しました。

憲法第99条は「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」と規定しています。私は公務員の一人としてこの義務を果たし、町政に憲法を生かす努力をしなければと思っています。

2点目は、改めて、自治体とは何かを考えることが大切ではないかと考えています。町は、町民の皆さまの願いにこたえて政治を行う最も身

近な組織であると思っています。町民の願いは、次の4つに集約できるのではないかと考えています。

元気で各方面で活動ができ、病気になる時は安心してお医者さんに診てもらえること

働く場所があつて、収入が保障され、そのお金をつかって買い物やレジャーを楽しむこと

いじめを受けず、差別されず、地域、職場、学校等で仲良く集団生活ができること

この思いを施策に生かし、予算を組むことが大切だと思います。

地方自治は、戦争の反省から憲法の五原則の一つに位置付けられています。沖縄や福島で起こっている事態を見れば、平和で安全な日本を現実にする視点からも地方自治の大切さを理解することができます。3点目は、町民の貧富の格

差の広がりにどう対応するかということですが、

世界中で貧富の格差が広がっています。私には、この格差の広がりが国家や民族間の紛争の要因に思えてなりません。私は自由に競い合うことを全否定するものではありませんが、共に生きることを後景に押しやるほど強調することには疑問を持っています。共生のための競争であつてほしいと思っています。

4点目は、福崎町第5次総合計画を本格的に進める年であることです。第5次計画は第4次計画の「自律（立）の心を育て参画と協働のまちづくり」の精神を受け継ぎ、発展させることとしています。

主な重点施策

- ・ 総務課
- ・ 女性委員会の継続設置
- ・ 岩手県遠野市との友好都市交流
- ・ 町制60周年記念事業計画の検討

- 企画財政課
 - ・ 地方版総合戦略の策定
 - ・ 行政改革大綱の改定
- ・ 税務課
 - ・ 債権管理条例による適正な滞納対策の推進
- 地域振興課
 - ・ 造形コンテストの実施
 - ・ 辻川山に天狗の昇降装置設置
- ・ 自治会における自律（立）のまちづくりの推進
- ・ 七種山周辺のパイオトレ設置と遊歩道整備
- ・ なつ得商品券の倍額発行
- ・ 特産「もちむぎ」の普及促進
- 住民生活課
 - ・ 子育て世帯臨時特例給付金の支給
 - ・ 個人番号カードの発行
 - ・ 町営住宅の家賃滞納対策の推進
- 健康福祉課
 - ・ 臨時福祉給付金の支給
 - ・ 巡回バスの利用啓発
 - ・ 中学3年生までの通院・入院医療費無料化の継続
 - ・ 健康増進計画及び食育推進計画の策定
 - ・ 第6期介護保険事業計画に沿った介護予防の推進とサービス提供体制の充実
 - 農林振興課
 - ・ 農業者経営所得安定対策の継続
 - ・ 「人・農地プラン」の作成推進による農地集積化促進
 - ・ 高岡・福田地区ほ場整備事業の推進
 - ・ 農村地域防災減災事業によるため池の整備推進と一斉点検の実施
 - ・ もち麦の機能性を生かした食育・ブランド戦略の推進
 - まちづくり課
 - ・ 福崎駅周辺整備事業の推進
 - ・ 香福橋の補修と橋梁の定期点検
 - ・ 高岡・福田地区他における治水対策事業の実施
 - ・ 土地利用計画及び都市計画マスタープランの改定
 - ・ 空き家バンク制度の整備
 - 上下水道課
 - ・ 福崎企業団地の下水道整備と配水管の整備
 - ・ 川すそ雨水幹線の整備推進
 - ・ 公営企業（下水道）会計の法適化業務の推進
 - ・ 福田水源高度浄水施設の整備
 - ・ 工業団地の上水配水池の耐震2次診断の実施
 - 学校教育課
 - ・ 子ども子育て支援事業計画にもとづく子育て支援の推進
 - ・ 田原小学校体育館の建設と小中学校体育館の耐震化
 - ・ 児童生徒の国際理解教育と小学校の英語活動の推進
 - ・ 食育の推進と安全で安心な学校給食の提供

総額 161億6,810万円

一般会計 96億4,400万円

平成27年度一般会計及び特別会計予算総額

(単位：千円、%)

会計名	予算額		比較	
	本年度	前年度	金額	前年比
一般会計	9,644,000	8,431,000	1,213,000	14.4
国民健康保険事業特別会計	2,200,300	1,986,000	214,300	10.8
後期高齢者医療事業特別会計	230,300	229,800	500	0.2
介護保険事業特別会計	1,462,500	1,416,300	46,200	3.3
農業集落排水事業特別会計	257,500	257,400	100	0.0
公共下水道事業特別会計	1,113,400	1,546,200	432,800	28.0
水道事業会計	1,068,300	1,200,700	132,400	11.0
工業用水道事業会計	191,800	163,000	28,800	17.7
合計	16,168,100	15,230,400	937,700	6.2



社会教育課
 ・「やるびあドーム」等の利用
 啓発
 ・大庄屋三木家住宅の保存修理事業継続
 ・柳田國男の顕彰事業の継続
 ・社会教育施設のトイレ改修

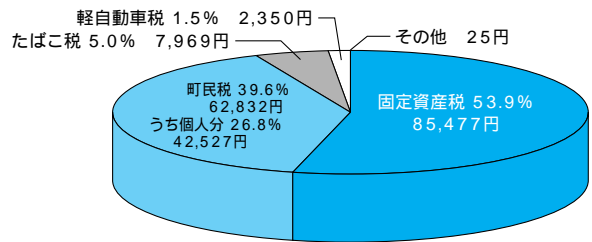
平成27年度一般会計歳入内訳及び比較表

(単位：千円、%)

科目	予算額		前年比	構成比	
	本年度	前年度		本年度	前年度
①町税	3,106,700	3,148,700	1.3	32.2	37.4
②地方譲与税	72,100	74,000	2.6	0.7	0.9
③利子割交付金	5,500	6,400	14.1	0.1	0.1
④配当割交付金	12,800	12,000	6.7	0.1	0.1
⑤株式等譲渡所得割交付金	13,000	2,600	400.0	0.1	0.0
⑥地方消費税交付金	386,000	270,000	43.0	4.0	3.2
⑦ゴルフ場利用税交付金	16,000	15,000	6.7	0.2	0.2
⑧自動車取得税交付金	15,000	14,000	7.1	0.2	0.2
⑨地方特例交付金	10,000	12,000	16.7	0.1	0.1
⑩地方交付税	1,110,000	1,092,000	1.6	11.5	13.0
⑪交通安全対策特別交付金	4,000	4,000	0.0	0.0	0.0
⑫分担金及び負担金	239,166	280,276	14.7	2.5	3.3
⑬使用料及び手数料	90,664	92,137	1.6	0.9	1.1
⑭国庫支出金	1,377,871	767,343	79.6	14.3	9.1
⑮県支出金	558,188	526,147	6.1	5.8	6.2
⑯財産収入	63,625	6,246	918.7	0.7	0.1
⑰寄附金	25,601	3,101	725.6	0.3	0.0
⑱繰入金	318,127	422,616	24.7	3.3	5.0
⑲繰越金	60,000	60,000	0.0	0.6	0.7
⑳諸収入	338,058	301,134	12.3	3.5	3.6
㉑町債	1,821,600	1,321,300	37.9	18.9	15.7
歳入合計	9,644,000	8,431,000	14.4	100	100

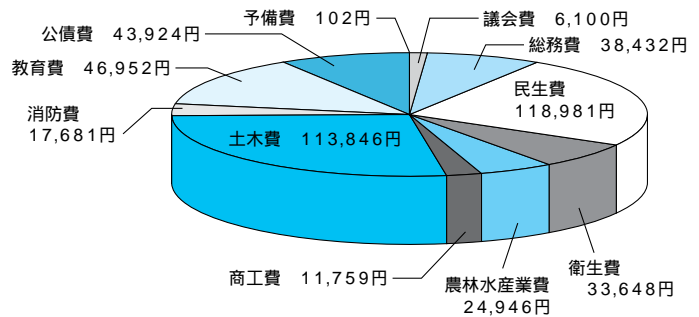
私たちが負担する税(1人当たり)

2月28日現在の人口19,576人で 158,699円



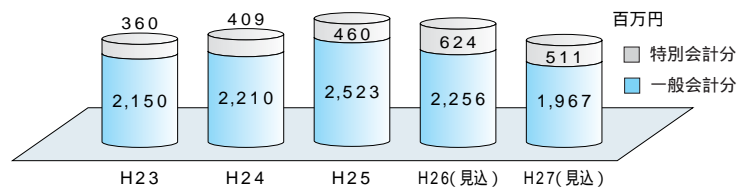
私たちに使われる町のお金(1人当たり)

2月28日現在の人口19,576人で 492,644円



基金積立金現在高

平成27年度末残高見込
 一般会計 19億6,700万円 (1人当たり約101,000円)
 特別会計 5億1,100万円 (1人当たり約26,000円)
 合計 24億7,800万円 (1人当たり約127,000円)



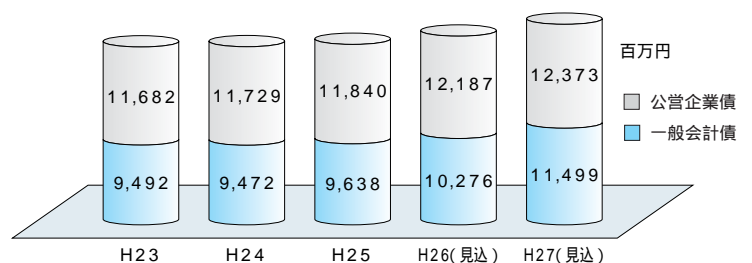
平成27年度一般会計歳出目的別内訳及び比較表

(単位：千円、%)

科目	予算額		前年比	構成比	
	本年度	前年度		本年度	前年度
①議会費	119,408	119,087	0.3	1.2	1.4
②総務費	752,352	741,672	1.4	7.8	8.8
③民生費	2,329,167	2,695,000	13.6	24.2	32.0
④衛生費	658,697	743,245	11.4	6.8	8.8
⑤農林水産業費	488,340	404,884	20.6	5.1	4.8
⑥商工費	230,195	231,408	0.5	2.4	2.7
⑦土木費	2,620,173	1,375,638	90.5	27.2	16.3
⑧消防費	303,371	344,976	12.1	3.1	4.1
⑨教育費	1,283,035	916,080	40.1	13.3	10.9
⑩公債費	857,262	857,010	0.0	8.9	10.2
⑪予備費	2,000	2,000	0.0	0.0	0.0
歳出合計	9,644,000	8,431,000	14.4	100.0	100.0

地方債現在高

平成27年度末残高見込
 一般会計 114億9,900万円 (1人当たり約588,000円)
 公営企業会計 123億7,300万円 (1人当たり約632,000円)
 合計 238億7,200万円 (1人当たり約1,220,000円)



食育通信

～みんなで食育を実践しよう～

もち麦生産組合 加工研究グループ「ベジタブル会」

「ベジタブル会」の名前の由来は？

会員それぞれの持ち味を活かして、野菜たちの集まりということです。

発足のきっかけは？

子育てが終わり、PTAや子ども会の延長から始まりました。グループとしては平成10年4月に発足しました。

活動内容は？

最初は、自ら育てた花でドライフラワーを作り、花束の宅配から始めました。もち麦生産組合の仲間に入ってから「もちむぎ畑のかあさん弁当」が生まれ、本格的にお弁当屋を始めました。

ここがけていることは？

「地産地消」で季節感のある旬の味、本物の野菜のおいしさを知ってもらうために、無農薬で朝どりの野菜を使い、手作りだからに優しいもちむぎ弁当に取り組んでいます。



イベント時の限定販売！
「フクちゃんの七福いなり」と「サキちゃんのカップ巻」

「福崎町山の会」の登山道整備ボランティア活動により、八千種地区にある住吉山と高倉山の山頂や登山道の分岐点など、5か所に案内標識が設置されました。新緑に包まれた2つの山の縦走路を歩いて、さわやかな汗をかいてみませんか。
(福崎町観光協会)

住吉山・高倉山登山道に案内標識を設置

福崎町山の会



満百歳！

おめでとうございます



2月7日、鍛冶屋の中塚はつゑさんが満百歳を迎えられました。

介護予防のため、今でも自分の炊事洗濯をされています。訪問時もすてきな笑顔で迎えてくださいました。

今後もますますお健やかに、さらなるご長寿をお祈りします。

なお、百歳をお祝いして、百歳の森記念碑にお名前を刻みました。

(健康福祉課)

少年悩み相談事業

～気軽に 無料 秘密を守ります～

子どもに問題行動のきざしがあれば、早い時期に相談してください。

相談件数(平成26年4月～平成27年2月)

内容	不登校・いじめ	学習・進路	異性・性・友人関係	しつけ・子育て・親子関係	身体・性格	反社会的行動	学校の指導・教師	その他	合計
件数	1	3	0	2	0	10	4	5	25
相談対象者	小	0	0	0	0	2	0	0	2
	中	1	2	0	1	0	2	1	8
	高	0	1	0	1	5	0	1	8
	他	0	0	0	0	2	2	3	7

教育相談日

【電話相談】

月・火・金曜日

9:00～12:00 13:00～16:00

☎26-1010(内線611)

【面接相談】

水曜日

9:00～12:00 13:00～16:00

事前にお電話ください

神崎郡青少年補導センターは、青少年の非行化防止・健全育成を関係機関や関係団体と連携、協力しながら、総合的に推進しています。

神崎郡青少年補導センター

市川町西川辺177 ☎26-1010(内線611)

福崎町消防団が受章!

3月10日、日本消防会館二ツシヨールホール(東京都)で開催された第67回日本消防協会定例表彰式において、福崎町消防団が特別表彰「まとい」を受章しました。

「まとい」は、全国に約2200ある消防団のなかから毎年10団体のみに与えられるもので、選考基準は特に厳しく、日本消防協会表彰としては最高栄誉の表彰です。

福崎町消防団は、平成22年に第22回全国消防操法大会小型ポンプの部で優勝、平成26年に第24回大会で準優勝するなど、長年にわたり優秀な成績を堅持していることが高く評価されたものです。
このたびの受章は、福崎町消防団の長い歴史のなかで築きあげられた伝統と、日夜努力を重ねてこられた諸先輩方の功績の賜物です。

(住民生活課)



委員募集

町の施策にみなさんのご意見、ご提案を反映させるため、次の委員会の委員を募集します。

町制施行60周年記念事業計画検討委員会 男女共同参画計画策定委員会

委員会名	福崎町町制施行60周年記念事業計画検討委員会	福崎町男女共同参画計画策定委員会
内 容	平成28年度の福崎町町制施行60周年にあたり実施する記念事業の計画・内容の検討	男女が性別にかかわらず個性と能力を發揮し、いきいきと暮らすことができる社会の実現に向けた「福崎町男女共同参画計画」の策定
応募要件	町内に在住・在勤・在学の18歳以上の方	町内に在住の20歳以上の方
募集人数	5人程度	2人程度
活動期間	平成27年6月～平成28年3月	委嘱日～平成28年3月
会議の回数	6回程度	3回程度
申込締切	5月15日(金)	5月29日(金)
申 込 先	総務課(内線221)	社会教育課(内線257)

申込用紙は、それぞれの課で配布するほか、町ホームページからもダウンロードできます。書類選考により決定し、結果は応募者本人に通知します。



幸せとは

福崎西中学校3年(当時)

宮内貴希

僕たちは、ふとした時間に幸せを感じることがあると思います。その幸せは、人それぞれいろいろなものがあると思います。では、幸せとは一体何なのでしょう。僕の考える幸せな時間とは、友だちといえる時です。友だちとは、何をしても楽しいです。ふざけあえたり、けんかをして、一つのことを夢中になつて楽しむことができます。何より心を許せる友だちは、自分のことをわかっていてくれる。だからこそ、思っていることを素直に話せるし、リラックスできるのだと思います。

例えば、僕は友だちとサッカーをしている時に幸せを感じ

ます。ボールをけり合っている中で、いろんなことを話したり、冗談を言い合い笑ったり、体を動かし、みんながゴールをめざしたりと、こんなふとした瞬間こそが幸せを感じる事ができる気がします。人間は一人だけでは決して幸せを感じることはないと思うのです。幸せとは、家族や友だちなど自分の大切な人と自分とが、その時、その瞬間に歩んでいる人生の中で幸せをつかんでいくものだと思います。その幸せは、人と人の出会いから始まります。一期一会ということばもあります。地球上に何十億という人間がいても、一人の人が一生のうちで出会い、会話を交わせる人数は限られているのです。今、同じクラスになっているクラスの仲間を大切に思うことが幸せにつながるのではと考えます。宇宙の中の、地球という星の、世界の国々の中の日本の兵庫県神崎郡福崎西中学校区に住んでいる14歳から15歳の68回生。この68回生の仲間が、今、ここにいる確率は、奇跡的なものなのです。その確率をある例えを使って述べてみたいと思います。

本で読んだことですが、みなさん想像しながら聞いてください。体育館にかかげてある時計があります。その時計をバラバラに分解したとします。ネジや中の歯車や秒針もすべてバラバラにして、学校の25mプールに放り込みます。そしてプールの水を大きな棒か何かでかきまぜるのです。「時計よ、元に戻れ。時計よ、元に戻れ。」と念じながら。さて、時計は元に戻るでしょうか。運よくネジとネジが隣合わせになって沈むことはあるかもしれませんが、プールの水をかき混ぜて、時計が元の形に戻ることはまずあり得ません。僕が西中68回生3年1組14番である確率は、そのバラバラにした時計がプールの中でうまくネジがはまって元の形になると同じ確率だということです。まさに奇跡です。

このように考えると、68回生でよかった、友だちがいて幸せだ、と思わずにはいられません。

家で、母にも聞いてみたことがありません。どんな時に幸せだと思うかという僕の質問に母はこう答えてくれました。元気な時よりも、風邪をひいたり、病気をしたりした時な

どに、幸せだなあと思うと言います。なぜなら、家族が「大丈夫?」とか「手伝おうか?」などと優しい声をかけてくれるからだそうです。このように、何かあった時に改めて家族の優しさやありがたさを感じて、自分は幸せなんだなあと思えると言います。

いつもはあたり前で、気付きにくい家族のきずなや思いやりも「幸せ」の一つだと思います。

僕たちはもう中学3年生です。もうすぐ、高校受験があります。受験で成功するには、毎日の積み重ねが大事になってきます。毎日の積み重ねにはかなりの根気が必要になります。でも、見方を変えれば、この高校受験で合格し、新しい人と人の出会いができる、つまり、新たな幸せを見つめることができるのです。だから、このチャンスをのがさないために、今からがんばらないといけないと思います。そして、友だちをもっと大切にしていくことが大事だと思います。みなさんも幸せを見つめるなら、友だちは友だちでも、表面上の関係ではなく、一歩踏み出し、何でも言い合えるかけがえのない友だち関

人権標語

係を築いていくことがよいと思います。

そのために僕は、自分の好き勝手や自分の意見だけを人に押しつけない人間でありたいと思います。そして、人のことも考え、人を大事にできる人間になりたいと思います。

あそぼつと いわれてみれば
うれしいな

八千種小学校3年(当時)
多田帆乃香

声かけて 心のきずな
しっかりと

福崎小学校4年(当時)
加門聖那

君の手が 誰かの心を
支えるよ

福崎東中学校2年(当時)
松岡みのり

大丈夫? その一言が
おもいやり

福崎西中学校3年(当時)
西村百穂